

外 来 種 捕 獲 手 法 マ ニ ュ ア ル

(ヌートリア・アライグマ・ハクビシン)

平成 1 7 年 3 月



はじめに

野生動物は、その地域の気候や地形などの条件によって、長い年月をかけて形成されてきた生態系の中で生息しています。しかし、近年、本来その地域に生息していないはずの生物が野生生物として定着し、短期間で大量に繁殖し、在来の生物の生息場所を奪ったりして、その生態系に影響を与えたり、各地で農林作物や生活環境への被害などを発生させています。

本県においても、もともと地域に生息していなかった中型哺乳類であるヌートリア、アライグマ及びハクビシン（このうちヌートリア及びアライグマは特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に基づく特定外来生物指定候補選定種）が、広い地域で確認されるようになり、農作物などへの被害をもたらしてきています。こうした生息域の拡大が被害の増大を招くとともに、タヌキなど従来の哺乳類との競合など地域の生態系への影響が懸念されるところです。これらの哺乳類は、主に夜行性で、その被害や影響は必ずしも十分に把握されておらず、今後、ますます影響などの拡大が懸念されています。

このため、県内では被害防除対策が講じられ、主に有害鳥獣として捕獲が行われています。

しかし、その生態は不明なことが多く、必ずしもその捕獲は容易ではなく、効率的な対応が求められています。このため、今般、様々な情報や事例を参考に効率的な捕獲の手法をとりまとめました。

このマニュアルが、各地で被害を及ぼしているヌートリア、アライグマ及びハクビシンを効率的に捕獲する際の参考となれば幸いです。

この取りまとめにあたっては、各分野の専門家の方々から成る外来種捕獲手法マニュアル検討会を設け御指導・御助言をいただくとともに、埼玉県農林総合研究センター、北海道環境科学研究センター、名古屋市東山動物園の各機関、坪田敏男氏、黒沢努氏、立澤史郎氏、曾根啓子氏の各氏からは、貴重な資料、情報を御提供いただきました。皆様の御協力に対し、感謝の意を表します。

平成 17 年 3 月

愛 知 県 環 境 部

目 次

はじめに

1 . 対象哺乳類の生態等	1
1-1 ヌートリア	1
1-2 アライグマ	2
1-3 ハクビシン	3
2 . 愛知県内の生息・被害状況等	5
2-1 生息概況	5
2-2 被害概況	6
2-3 捕獲概況	8
2-4 捕獲方法の現状	9
3 . 農業被害・生活環境被害を防ぐ自衛策	10
4 . 捕獲手法	12
4-1 捕獲罠設置前のポイント	12
4-2 捕獲罠設置場所のポイント	13
4-3 捕獲罠設置方法のポイント	14
4-4 捕獲罠設置後のポイント	18
4-5 捕獲後の処理のポイント	19
参考文献	20

おわりに

付 録

・ヌートリア、アライグマ、ハクビシンの一般的生態等	22
・ヌートリア、アライグマ、ハクビシンの足跡	28